

X線分光学による 物質科学へのアプローチ

日時: 2010年11月5日(金) - 6日(土)

会場: 京都大学・化学研究所・宇治おうばくプラザ・セミナー室4&5

プログラム

2010年11月5日(金)

- 13:05-13:35 「共鳴非弾性X線散乱による電子励起の観測」 石井賢司(JAEA)
13:35-14:05 「遷移金属化合物における共鳴非弾性X線散乱の理論」 野村拓司(JAEA)
14:05-14:35 「Pu薄膜の4f光電子分光」 田口宗孝(理研)
14:35-15:05 「鉄化合物の電子状態におけるback-bonding効果」 難波優輔(岡大)
15:15-15:45 「Cu-2pXPSの非局所効果」 水牧仁一郎(JASRI)
15:45-16:15 「Yb系準結晶の中間価数状態」 綿貫徹(JAEA)
16:15-16:45 「強磁性クラスレートEu₈Ga₁₆Ge₃₀ならびにSi置換系におけるXMCD」 鬼丸孝博(広大)
16:55-17:25 「Mn₃GaCのXMCDによる高圧下磁性研究」 河村直己(JASRI)
17:25-17:55 「鉄系超伝導体EuFe₂As₂における高圧下XMCD測定」 松林和幸(物性研)
17:55-18:25 「パルス強磁場XAS/XMCDでみる価数揺動現象」 松田康弘(物性研)

2010年11月6日(土)

- 9:05- 9:35 「マルテンサイト合金の磁気構造解析における課題」 松岡由貴(奈良女大)
9:35-10:05 「均一系有機金属触媒研究におけるXAFS利用:
反応中間体の局所構造解析と反応機構の解明」 高谷光(京大化研)
10:05-10:35 「SmMnO₃におけるSm-Mnモーメント間の相関に起因する磁気誘電異常」 木村剛(阪大)
10:45-11:15 「銀鉛酸化物超伝導体Ag₅Pb₂O₆の輸送特性
-希薄3次元電子ガス系としての側面から-」 米澤真吾(京大)
11:15-11:45 「小さな電荷移動エネルギーを持つ遷移金属化合物の放射光分光」 溝川貴司(東大)
11:45-12:15 「Aサイト秩序型ペロブスカイト構造酸化物の結晶構造・物性・電子状態:
材料サイドからのX線分光学への期待」 島川祐一(京大化研)

磁性分光研究会とは:

磁性分光研究会は磁性研究とX線分光をキーワードに、SPring-8を中心に実験を行う研究者と理論計算を行う研究者が情報交換・研究協力を促進するため定期的開催している研究会です。主なテーマは、(1) 磁気円二色性、線二色性に関する吸収過程およびそれに伴う二次光学過程の研究、(2) 極限環境(強磁場、高圧、極低温等)および特殊環境下での相転移現象等の研究、(3) 新磁性物質の開発および新磁性現象の研究、(4) 磁気分光に関連した新手法・新技術の開発、です。

参加自由です。

主催: SPring-8利用者懇談会・磁性分光研究会、共催: 京都大学化学研究所

問い合わせ先: mizumaki@spring8.or.jp (水牧仁一郎), shimak@scl.kyoto-u.ac.jp (島川祐一)